

2019（令和元）年度 群馬医療福祉大学 教員免許状更新講習一覧表

講習期間	講習の名称	講習の概要	担当講師	受講人数
8月19日	【必修】最新の教育事情と学校現場の課題	教職についての考察は、学校を巡る状況変化と専門職たる教員の役割を扱う。子どもの変化についての理解は、子どもの発達に関する課題と子どもの生活の変化を踏まえた指導のあり方を扱う。	時田 詠子（社会福祉学部教授） 小林 義信（社会福祉学部講師）	80人
8月20日	【選択必修】子どもを支える医療と命の授業-小児医療と性の多様性-	最近では、小児在宅医療にかかる連携体制構築で、学校と医療との連携が求められており、家庭や学校での支援の在り方についてその現状と課題を探る。また、学校における性同一性障害に関する文部科学省の状況調査に基づいて、国内外の現状を踏まえて、子どもや生徒の性の多様性とそれにかかわる学校教育の課題について考える。	西山 智春（看護学部教授） 丸井 淑美（看護学部教授）	40人
8月20日	【選択必修】生徒指導の在り方 -基本的生活習慣の確立について-	児童・生徒を取り巻く社会状況が激変している。引き起こる諸問題について、効果的な指導法を実践的に考察する。また、いじめ対応に活用できる日常の基本的生活習慣の確立やモラルの習得等の内容とその活動について教育方法を探る。	塚本 忠男（看護学部教授） 岡野 康幸（社会福祉学部講師）	40人
8月21日	【選択】教育相談と児童・生徒の現状と課題	児童・生徒を取り巻く環境や、そこで生じる様々なニーズも多様化・複雑化が進んでいる現在、学校現場における様々なニーズについて、教育相談の観点から、その予防・対処について理解を深める。	大島 由之（社会福祉学部助教） 青木美穂子（社会福祉学部講師）	30人
8月21日	【選択】幼児・児童・生徒の理解 -社会福祉の観点から-	幼児・児童・思春期の精神疾患や福祉環境に焦点を当て、メンタルヘルスと学校における対応、児童福祉諸機関と学校との関わり方、幼児教育を取り巻く環境と地域との連携の問題を取り扱う。	田中 輝幸（社会福祉学部准教授） 真下 潔（社会福祉学部講師）	30人
8月21日	【選択】作業療法の視点から見た子ども理解と支援のあり方について -感覚統合とシーティング	感覚の特徴を学び、触覚や聴覚、固有感覚、覚醒などを通じて感覚統合について学ぶ。また、学習環境において、良い姿勢をとることの意義や不良な座位姿勢の弊害について考える。	古田 常人（リハビリテーション学部 教授） 宮寺 亮輔（リハビリテーション学部講師）	20人

講習期間	講習の名称	講習の概要	担当講師	受講人数
8月22日	【選択】福祉現場での体験学習 -福祉・介護の基礎知識と施設体験-	総合的学習などで、子どもや学生が社会福祉施設での体験学習を実施する際に基本となる事項を、介護や福祉の専門職員から、利用者への対人援助の基本である知識・技術を習得して、体験的に実際の福祉施設の実情を理解させる方法と、その理論や実践指導のポイントを学ぶ。	白井 幸久 (短期大学部教授) 矢嶋 栄司 (短期大学部助教) 辻 志帆 (短期大学部講師)	20人
8月22日	【選択】運動による障害予防 -理学療法の観点から-	ラジオ体操を教材として、心拍数の変化、うつ病予防や、身体の動きを通じて運動器検診を行う。また、幼児期から成人に至るまでの体力・運動能力の向上と、並行してスポーツ外傷の発生と処置について事例を挙げながら学ぶ。	小島 俊文 (リハビリテーション学部教授) 新谷 益巳 (リハビリテーション学部助教)	30人
8月22日	【選択】幼児教育・保育の課題と展望	保育者の個性を生かす保育の展開方法や、働く母親が置かれている現状の課題を基に、どの家庭でも安心して子育てができるには、どのような子育て支援が必要か学ぶ。	田中 輝幸 (社会福祉学部准教授) 吉澤 幸 (社会福祉学部助教)	30人
8月23日	【選択】思春期における危機と対策	思春期の心理的特徴と社会的病理による生きにくさを事例などから理解する。また、こどもや学生の自己肯定感を高める主体的な生き方の支援方法のとして、ピアカウンセリング手法の体験学習から深め、成長期の課題について学ぶ。	酒井 美子 (看護学部教授) 山下 博子 (看護学部講師)	30人
8月23日	【選択】学校・家庭・地域社会の連携と課題	学校・家庭・地域社会の連携活動について、ボランティア活動の役割分担や相互の連携を、地域全体で行える取り組む体制づくりを考える。また、地域社会のスポーツ環境を理解し、障がい者スポーツの体験を通じてノーマライゼーションを考える。	新木 恵一 (社会福祉学部教授) 櫻井 秀雄 (社会福祉学部教授)	30人
8月23日	【選択】特別支援教育の視点による児童生徒の適切な支援を考える -教育・福祉の最近の動向-	障害者の権利に関する条約を批准し、「インクルーシブ教育システム」の構築の重要性が謳われている。福祉・教育の両面から多職種連携も含め、教師の指導力と学校の支援体制について習得する。	江原 京子 (社会福祉学部教授) 川端奈津子 (社会福祉学部助教)	20人